



2021年3月期
決算補足説明資料

東京インキ株式会社

(証券コード：4635)

2021年5月19日決算発表
(2021年5月28日一部訂正)

くらしに豊かな色を

くらしを支える確かな製品をお届けします

■ 目次

1. 連結業績ハイライト
2. セグメントの概況
3. その他連結決算情報
4. 株主還元情報
5. 次期業績予想
6. 参考情報



TOKYOink

innovative = 革新的な
impact = インパクトのある
idea = アイデア
intellectual = 高い知性/知識を備えている
interesting = 好奇心を起こさせる
inspire = 人を奮い立たせる
infinite = 無限
invention = 新たに考え出す
imagine = 想像する 思い浮かべる

東京インキは2016年に始動した経営計画「TOKYOink 2020」に合わせ、従来の日本語表記のロゴに加え、新しい英語ロゴを作成しました。

「i」を人に見立て、人に優しい企業、人に優しいものづくり、人を大切にする会社でありたいとの願いが込められています。また、この「i」には他にもさまざまな意味が込められています。

■ 1. 連結業績ハイライト

2. セグメントの概況
3. その他連結決算情報
4. 株主還元情報
5. 次期業績予想
6. 参考情報

- > 21年3月期 連結業績ハイライト
- > 21年3月期 売上高・営業利益増減要因
- > 21年3月期 四半期業績（前年対比）

新型コロナウイルス感染症の拡大影響により、減収減益

売上高

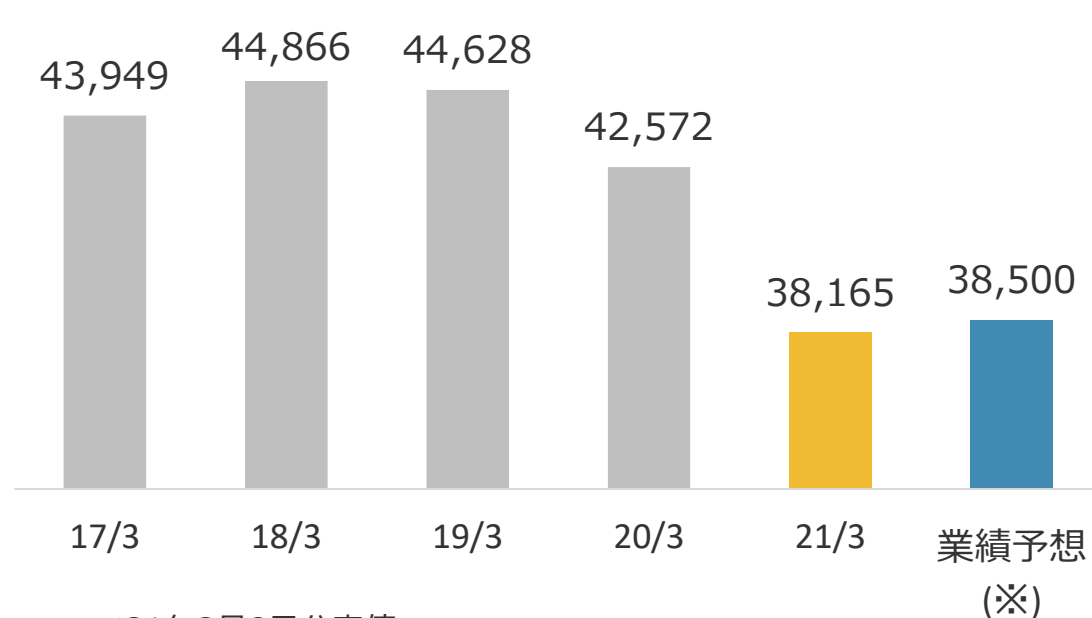
38,165百万円 前年比▲10.4%

インキ事業及び化成品事業は個人消費低迷等の影響により減収、加工品事業は水処理用資材及び土木資材の下支えで増収となるも、全体として減収

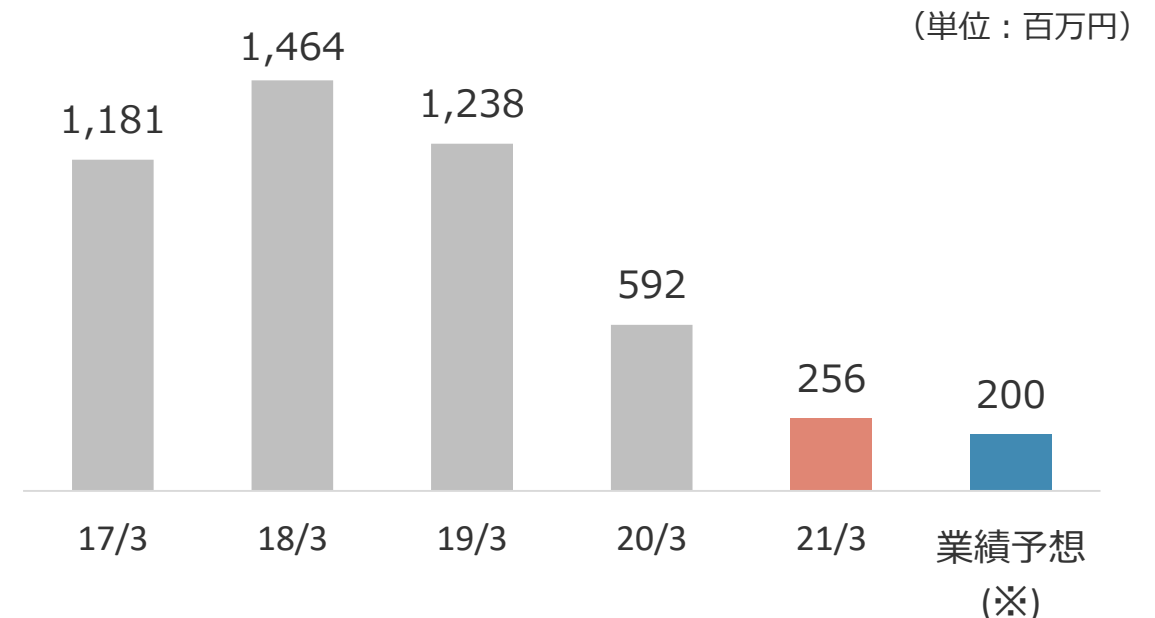
営業利益

256百万円 前年比▲56.7%

前年比大幅減益となったものの、第3四半期以降、インキ事業及び化成品事業の需要一部回復、加工品事業の好調継続により前回業績予想よりも上回る



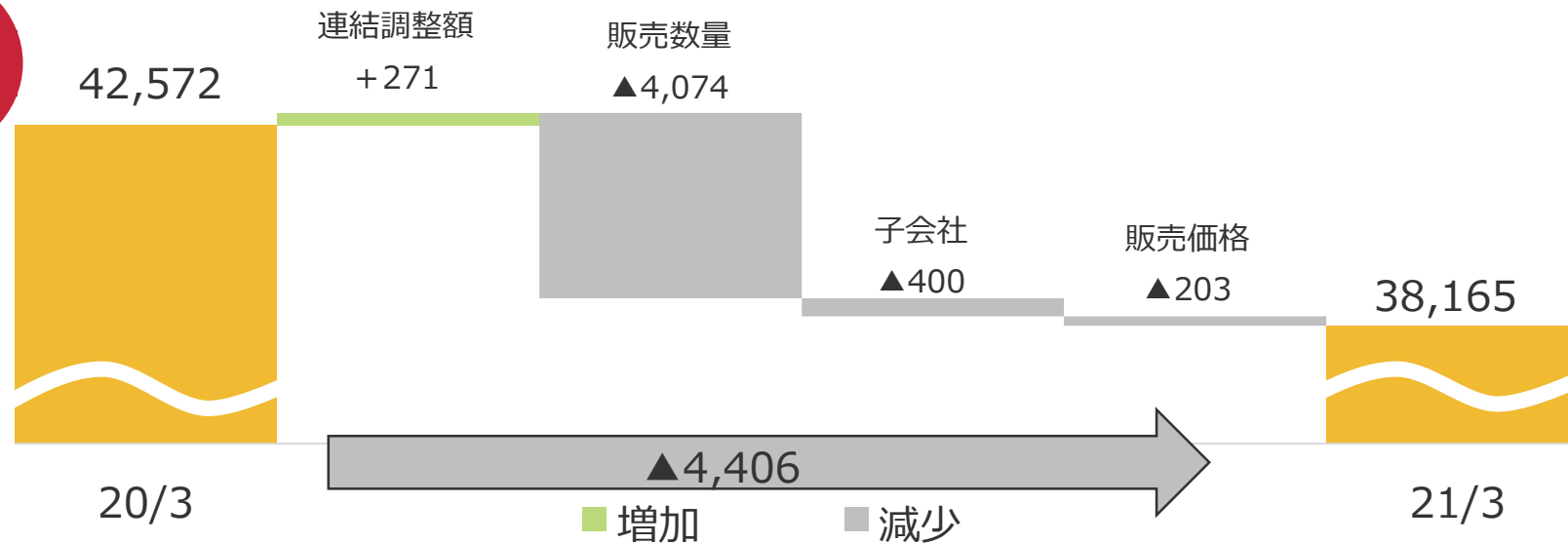
※21年2月8日公表値



21年3月期 売上高・営業利益増減要因

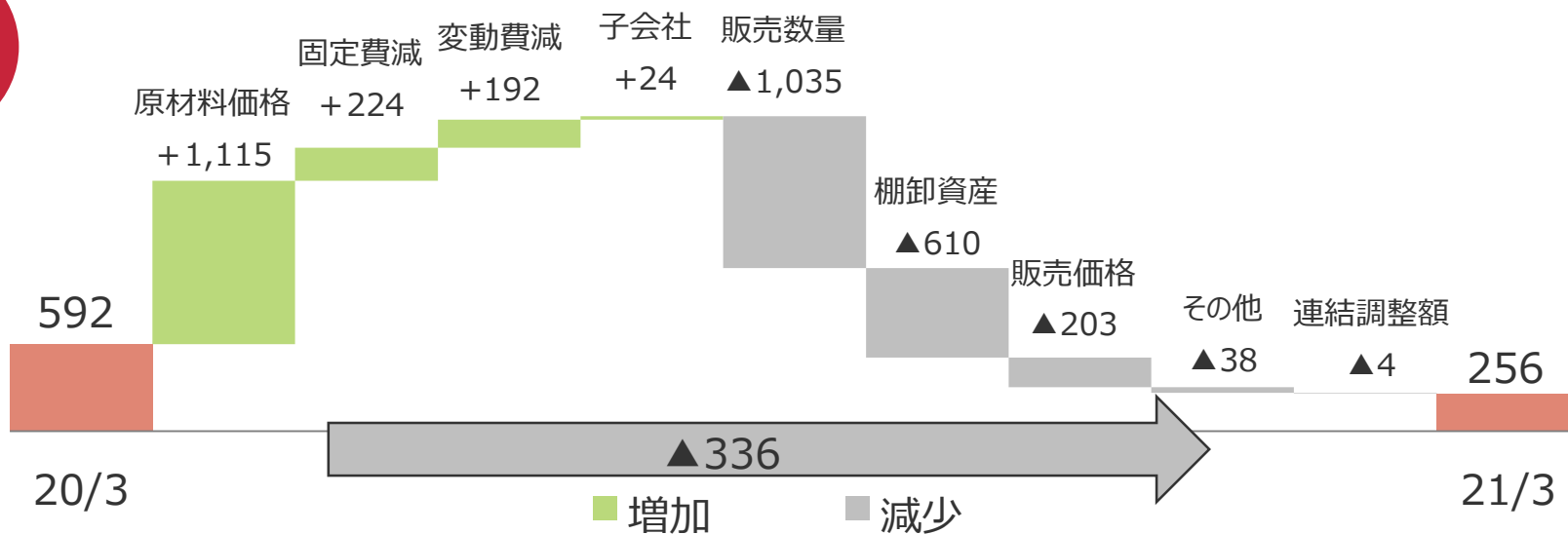
(単位：百万円)

売上高



特に第1、第2四半期の大幅な販売数量減少の影響が大きく、第3四半期以降の復調もカバーが出来なかった

営業利益



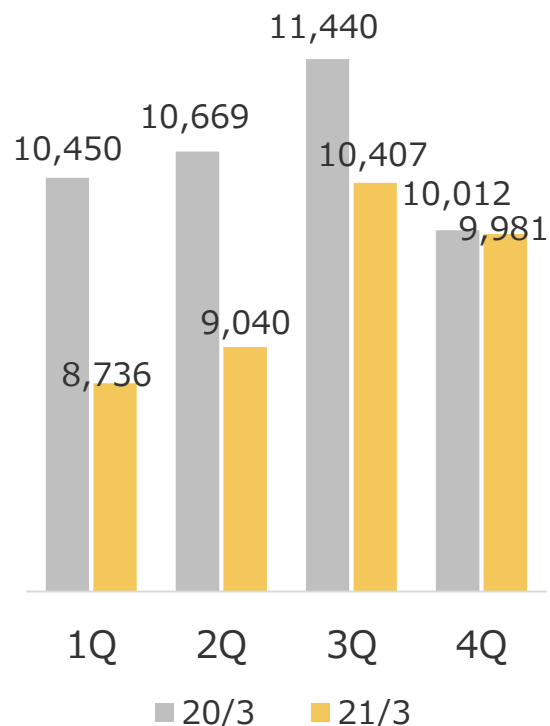
原材料価格の低減に加え全社的なコストダウンによる合理化を行ったが、大幅な数量減少が主要因となり利益減少

21年3月期 四半期業績（前年対比）

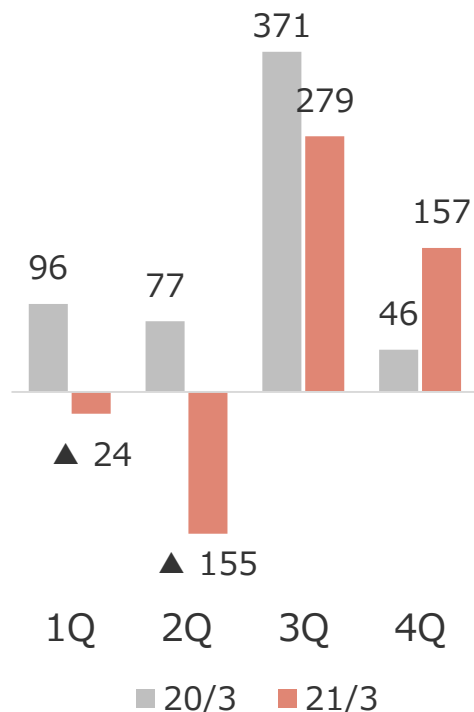
（単位：百万円）

新型コロナウイルス感染症の拡大による影響により、第1、第2四半期は売上高低迷により営業損失となるも、第3四半期以降、インキ事業、化成品事業が徐々に復調し、営業利益確保

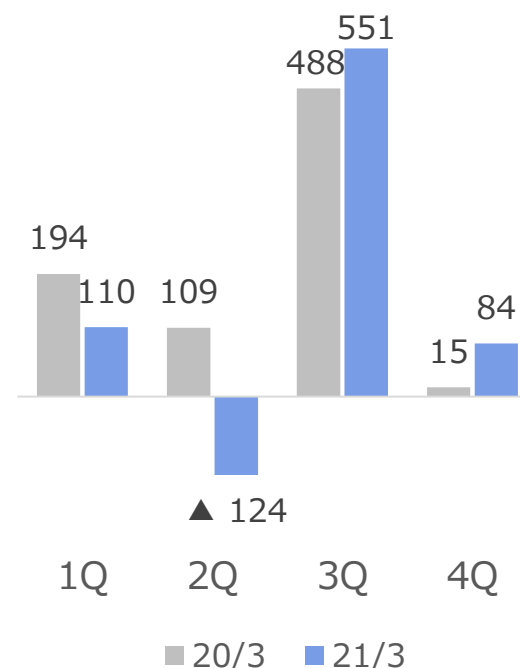
売上高



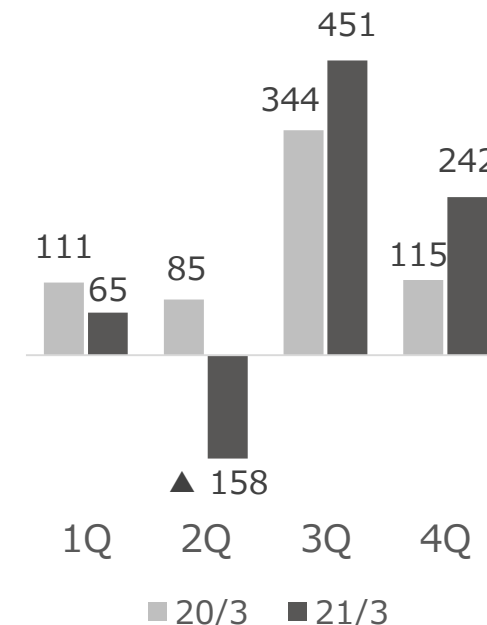
営業利益



経常利益



親会社株主に帰属する 当期純利益



※米国での投資評価方法の修正に伴う影響により、過年度に遡及し誤謬の訂正を実施しております
このため、前連結会計年度の各四半期及び当連結会計年度の第1～第3四半期の経常利益、親会社株主に帰属する当期純利益の数値を修正しております

1. 連結業績ハイライト

■ 2. セグメントの概況

3. その他連結決算情報

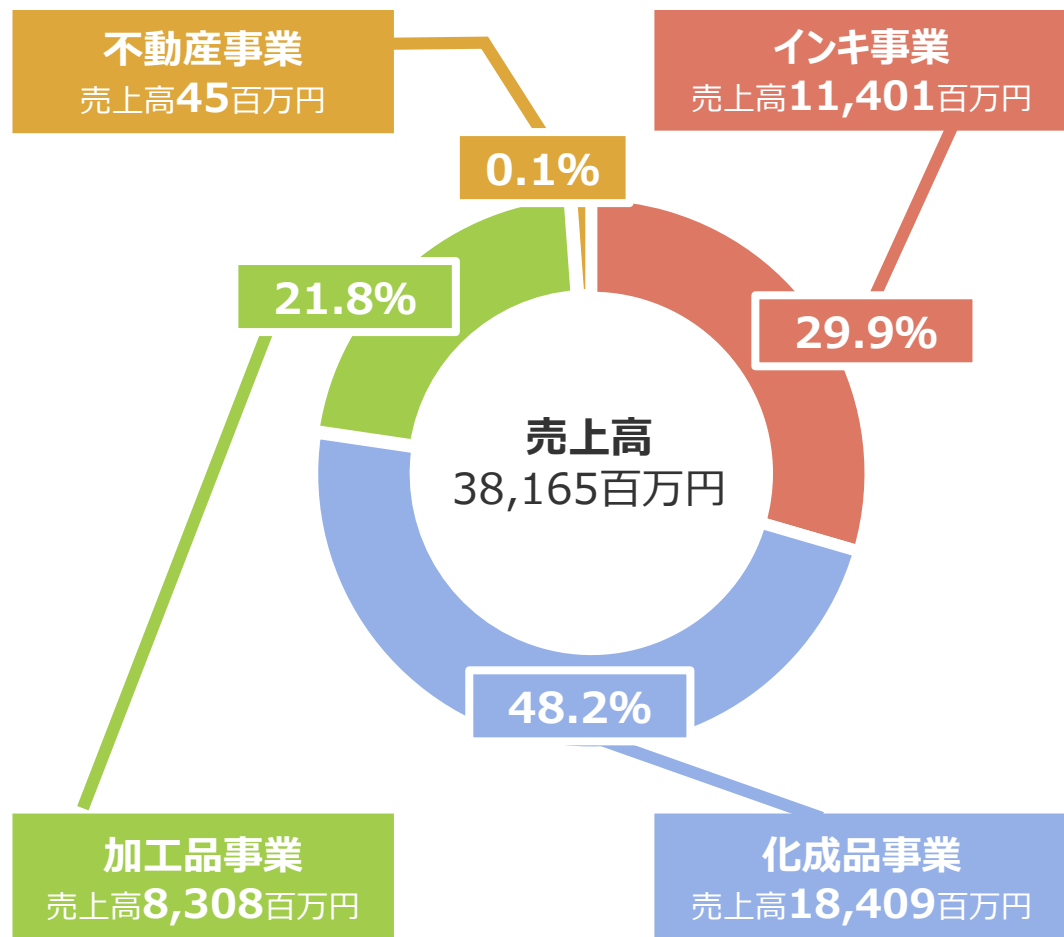
4. 株主還元情報

5. 次期業績予想

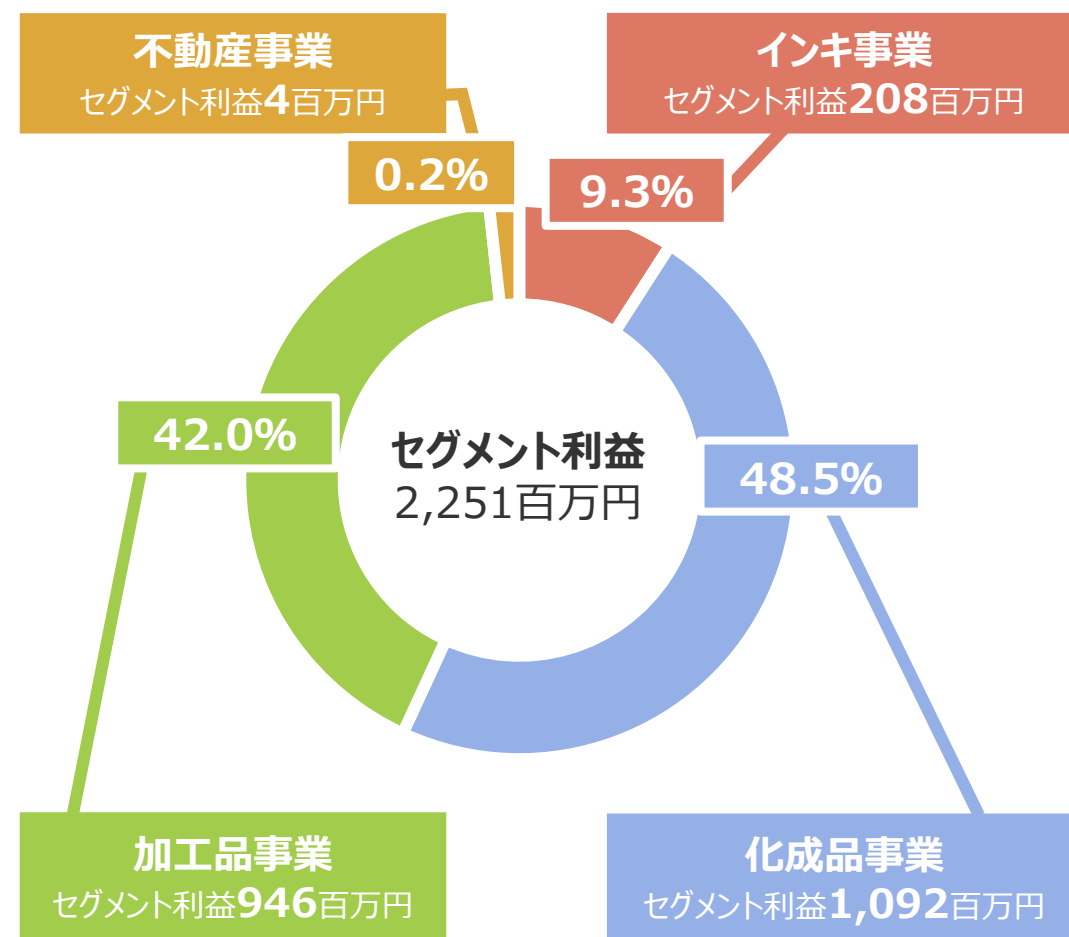
6. 参考情報

- > 21年3月期 セグメント別業績サマリー
- > 21年3月期 インキ事業
- > 21年3月期 化成品事業
- > 21年3月期 加工品事業
- > 21年3月期 不動産事業

売上高

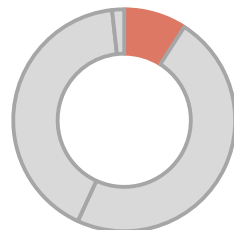
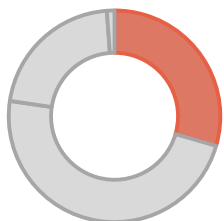


セグメント利益



売上高構成比
29.9%

セグメント利益構成比
9.3%



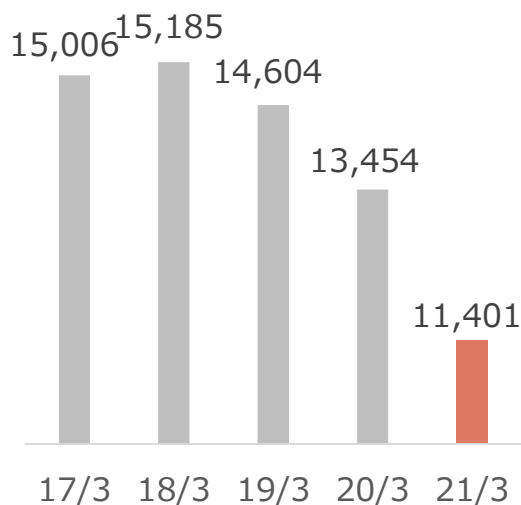
売上高 **11,401**百万円
前年対比▲15.3%

セグメント利益 **208**百万円
前年対比▲30.2%

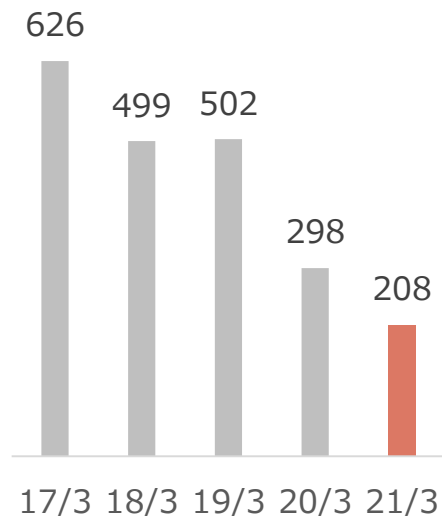
- 主要製品：オフセットインキ・グラビアインキ・インクジェットインク
- 一部食品用途での需要増があったものの、各製品とも新型コロナウイルス感染症の拡大による需要減の影響により減収・減益

(単位：百万円)

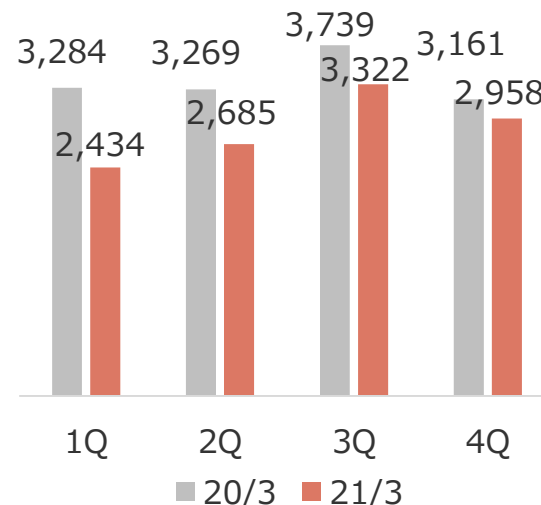
売上高



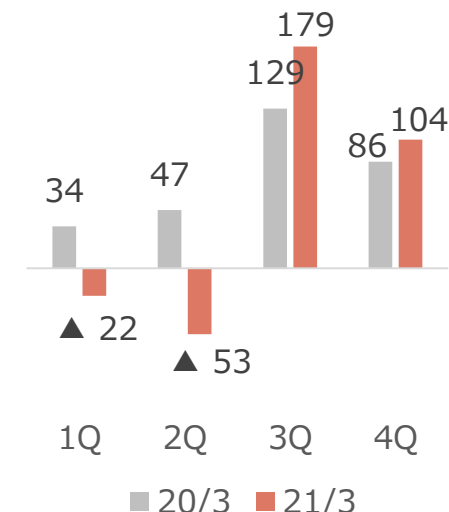
セグメント利益



四半期(前年対比)
売上高



四半期(前年対比)
セグメント利益



【コロナウイルス影響】

第3四半期以降は回復基調にあり、今後は21年3月期ほどの影響はないと考えているが、感染拡大・高止まりが継続した場合の収益悪化が懸念される

【事業環境と重点施策】

● オフセットインキ

市場縮小は継続 ⇒ 重点顧客への販売強化や他社との協業を推進し、事業体制の見直し

● グラビアインキ

軟包装市場は堅調に推移 ⇒ 環境対応製品、機能性製品の拡充

● インクジェットインク

産業用・包装用市場拡大は継続 ⇒ 独自特許取得とアライアンスによる産業用・商業用インク拡充



【投資計画等】

事業環境を考慮し、大型の新規投資は計画なし（維持・老朽更新は適宜実施）



SUSTAINABLE
DEVELOPMENT
GOALS

3

すべての人に
健康と福祉を



9

産業と技術革新の
基盤をつくろう



11

住み続けられる
まちづくりを



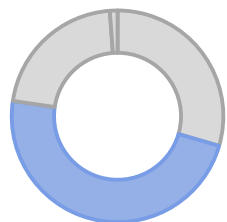
12

つくる責任
つかう責任

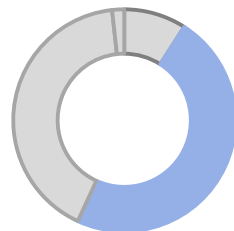


2030年に向けて
世界が合意した
「持続可能な開発目標」です

売上高構成比
48.2%



セグメント利益構成比
48.5%



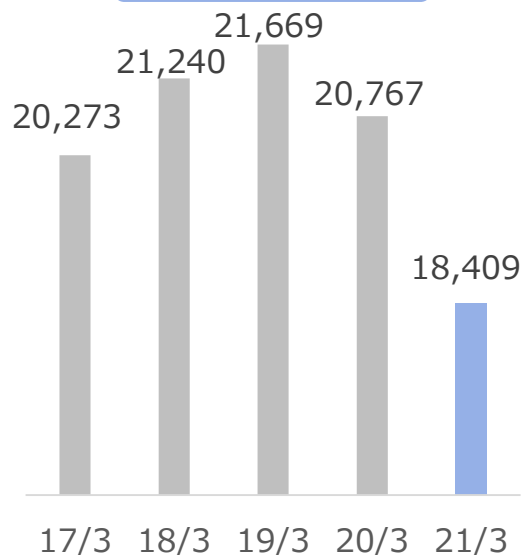
売上高 **18,409**百万円
前年対比▲11.4%

セグメント利益 **1,092**百万円
前年対比▲28.8%

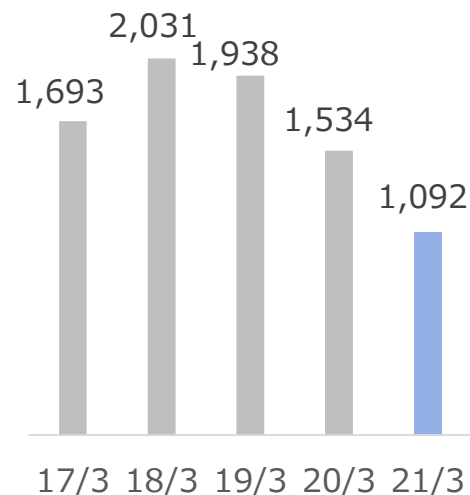
- 主要製品：着色剤マスターバッチ・機能性付与添加剤マスターバッチ・着色コンパウンド・機能性コンパウンド
- 食品包材、衛生材関連で好調な製品はあったものの、全体として脱プラ影響や新型コロナウイルス感染症の拡大による需要減の影響により減収・減益

(単位：百万円)

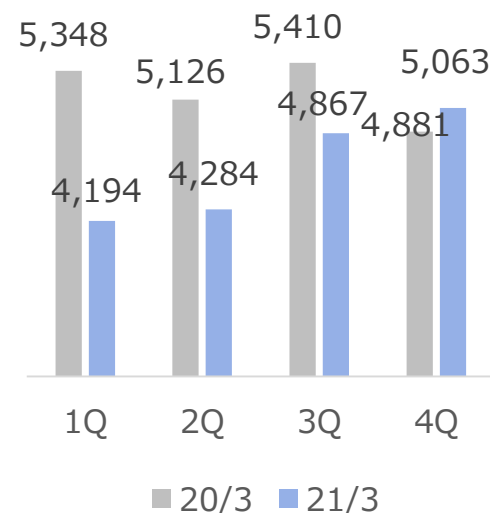
売上高



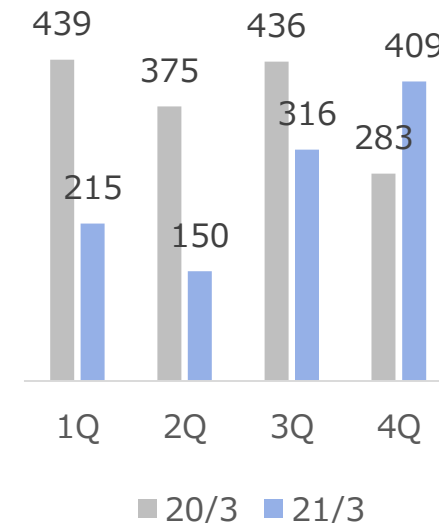
セグメント利益



四半期(前年対比)
売上高



四半期(前年対比)
セグメント利益



【コロナウイルス影響】

第3四半期以降は回復基調にあり、今後は21年3月期ほどの影響はないと考えているが、感染拡大・高止まりが継続した場合の収益悪化が懸念される

【事業環境と重点施策】

●自動車用マスターバッチ・コンパウンド

国内生産台数の見通しは不透明 ⇒ 既存製品の維持、新車種向け着色剤の受注、機能性製品の開発

●フィルム・容器用マスターバッチ

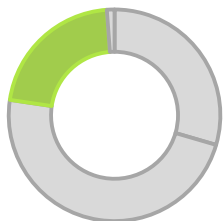
脱プラスチック影響により市場縮小は継続 ⇒ バイオマス・生分解性樹脂用マスターバッチ開発
環境対応製品や機能性付与添加剤マスターバッチ開発
液体マスターバッチ製品拡充
非ポリオレフィン樹脂用マスターバッチ製品拡充

【投資計画等】

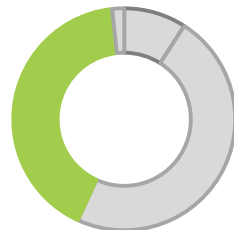
省力化・自動化検討設備等を実施予定



売上高構成比
21.8%



セグメント利益構成比
42.0%



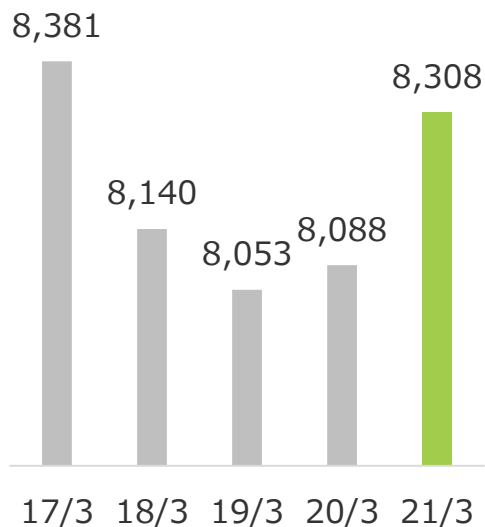
売上高 **8,308**百万円
前年対比 + 2.7%

セグメント利益 **946**百万円
前年対比 + 55.8%

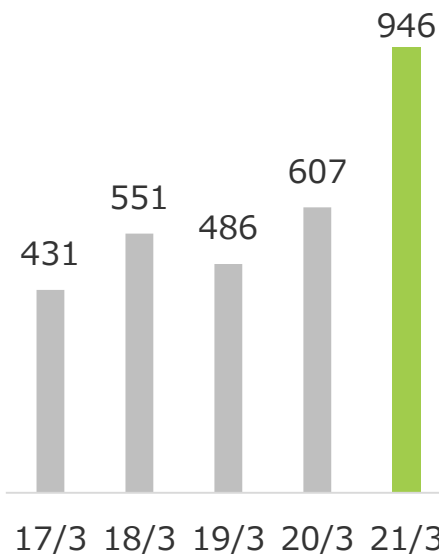
- 主要製品：ネトロン・一軸延伸フィルム・土木資材・農業資材
- 一軸延伸フィルム、農業資材が新型コロナウイルス感染症の影響を受けるもネトロンの水処理用途、土木資材のジオセル製品が好調に推移し増収・増益

(単位：百万円)

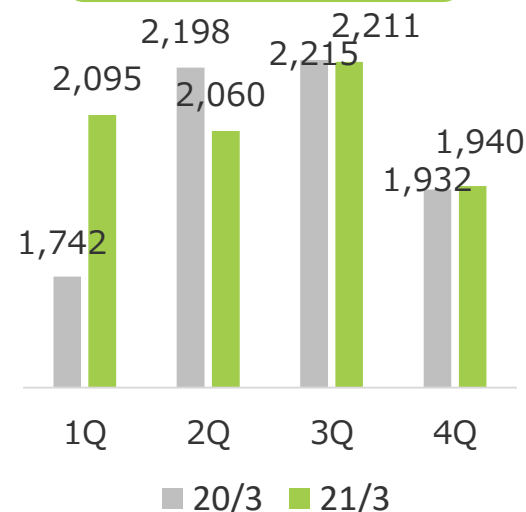
売上高



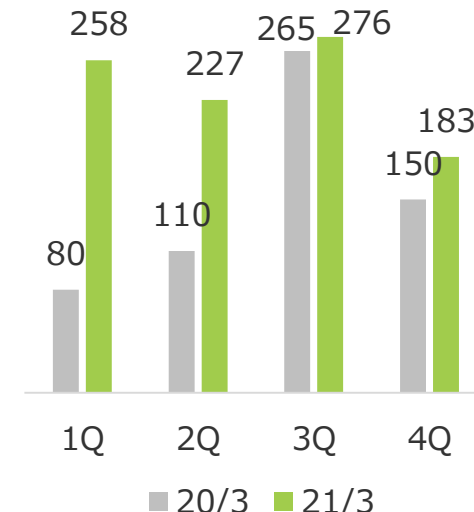
セグメント利益



四半期(前年対比)
売上高



四半期(前年対比)
セグメント利益



【コロナウイルス影響】

ネトロン（工材）の水処理用途、土木資材のジオセル製品は大きな影響はなく引き続き堅調に推移も、一軸延伸フィルムや農業資材は感染拡大・高止まりが継続した場合の収益悪化が懸念される

【事業環境と重点施策】

●ネトロン

水処理市場拡大継続 ⇒ 生産能力増強、高機能水処理用資材開発
包装用資材 ⇒ 環境対応製品の開発

●一軸延伸フィルム

コイン包装需要減 ⇒ ひねり性、直進カット性を活かした環境対応製品、高機能製品開発

●土木資材

自然災害増加に伴う防災・減災需要増加継続
国土強靱化計画継続 ⇒ 高機能ジオセル製品開発・ジオセル新規工法開発

●農業資材

国内人口減、高齢化に伴う需要減少 ⇒ 多層断熱被覆資材市場開拓、高機能農業資材開発

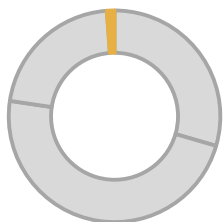


【投資計画等】

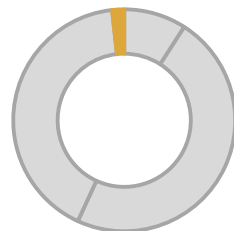
大型投資継続実施



売上高構成比
0.1%



セグメント利益構成比
0.2%



売上高 **45**百万円
前年対比▲82.4%

セグメント利益 **4**百万円
前年対比▲96.5%

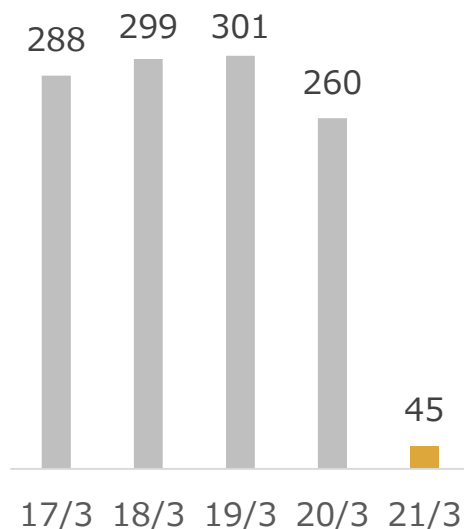
- 前年度の賃貸物件売却の影響により減収・減益
- 埼玉県さいたま市に戸建賃貸住宅「パレットパークタウン」完成
- 今後の見通し：「パレットパークタウン」、北区王子本社ビルの賃貸フロアともすべて稼働
⇒ 一定の賃貸収入を見込む



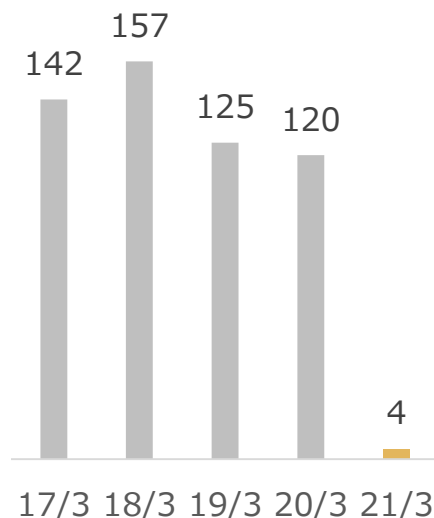
「パレットパークタウン」

(単位：百万円)

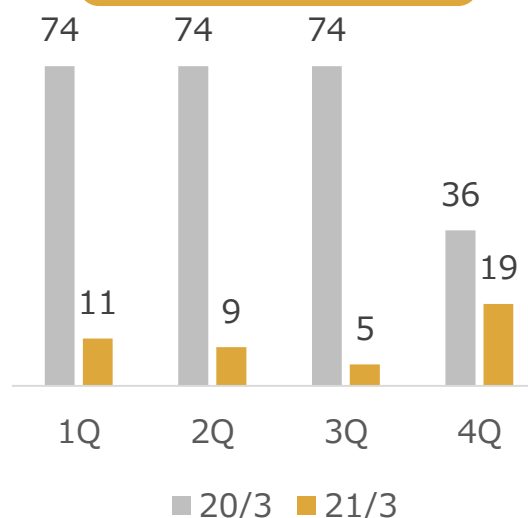
売上高



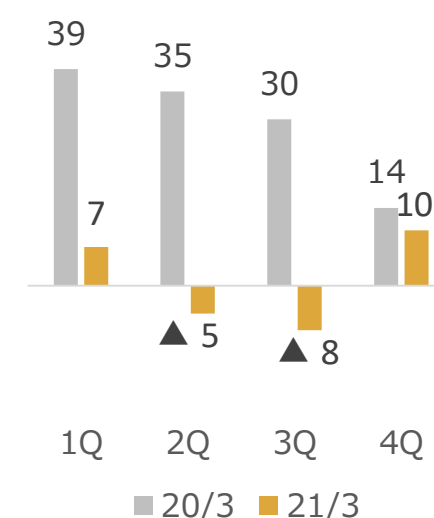
セグメント利益



四半期(前年対比)
売上高



四半期(前年対比)
セグメント利益



1. 連結業績ハイライト

2. セグメントの概況

 3. その他連結決算情報

4. 株主還元情報

5. 次期業績予想

6. 参考情報

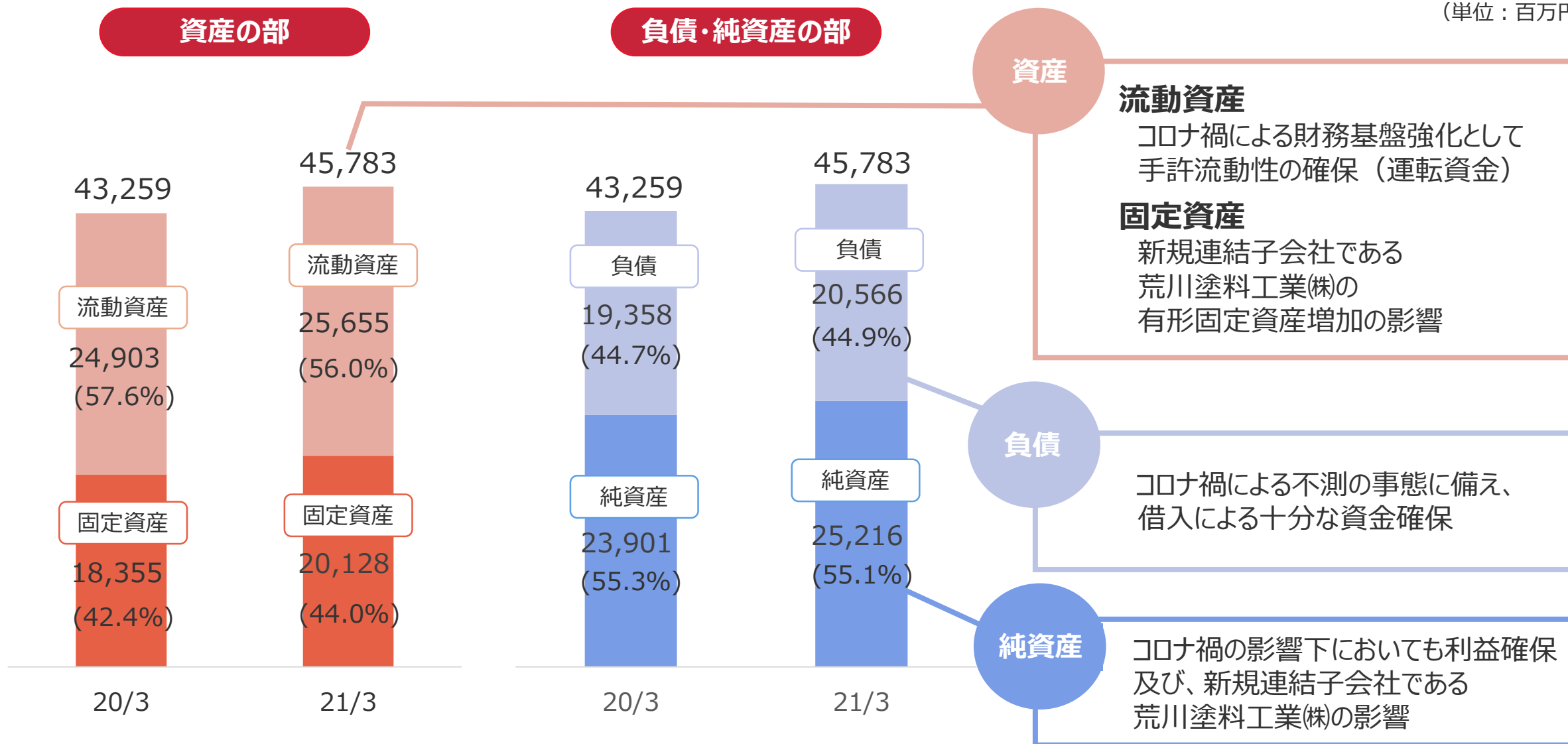
> 連結貸借対照表

> 設備投資額・減価償却費・研究開発費

(単位：百万円)

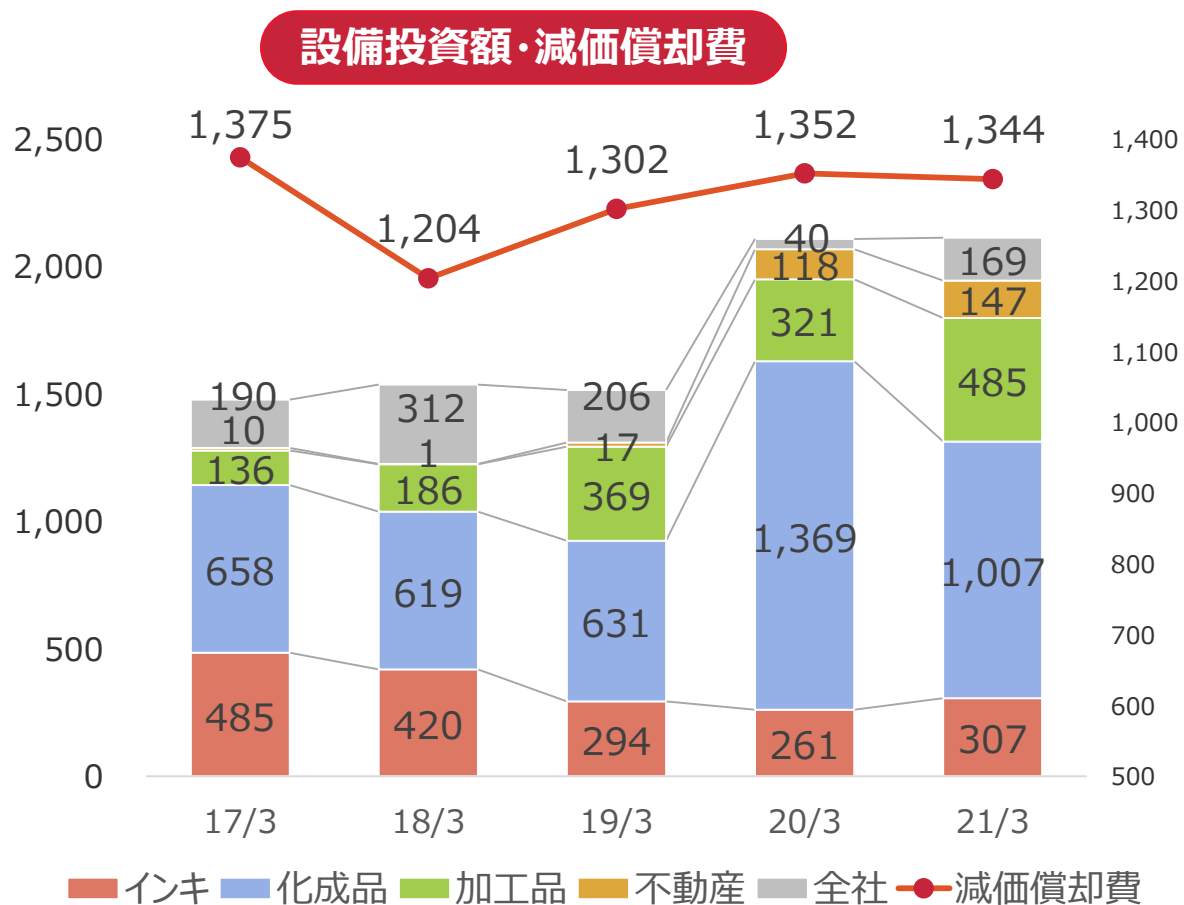
資産の部

負債・純資産の部



設備投資額：化成品事業における大阪新工場建設や新規高分散対応設備、加工品事業における自動化ライン等の導入等により増加傾向

(単位：百万円)



1. 連結業績ハイライト
2. セグメントの概況
3. その他連結決算情報

4. 株主還元情報

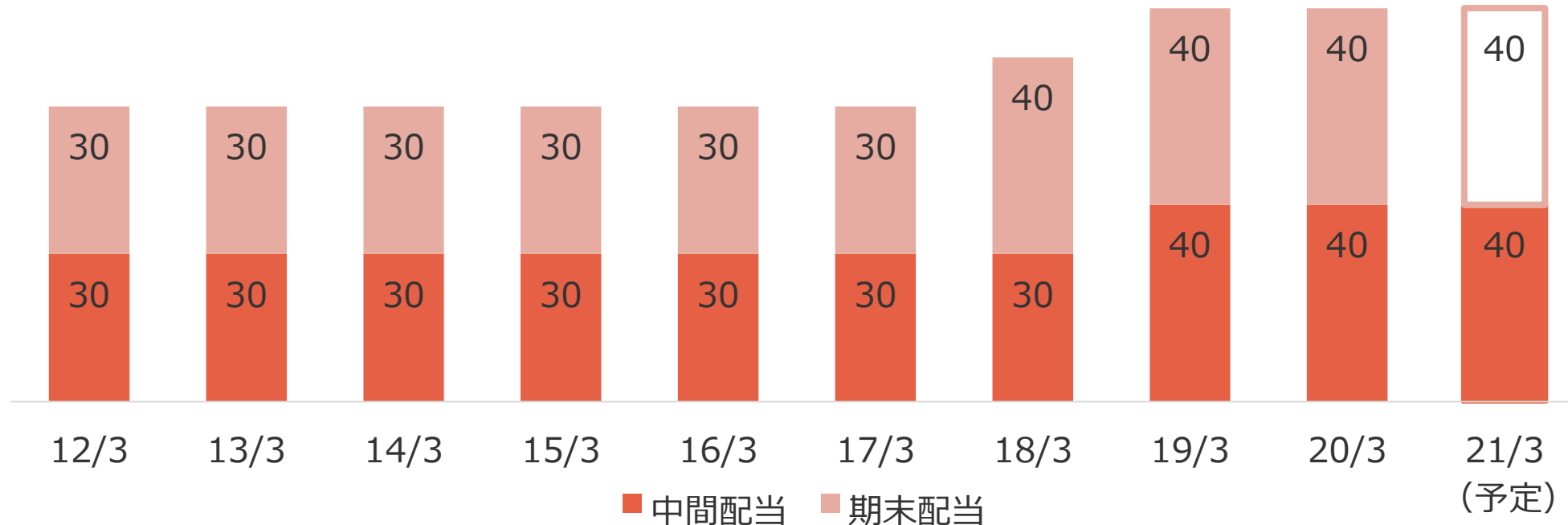
5. 次期業績予想
6. 参考情報

- > 株主還元情報
- > 株価推移

経営基盤の強化ならびに今後の企業価値向上へ向けた内部留保を確保しつつ、株主の皆様への利益還元を経営の重要課題の一つとし、安定かつ継続的に配当を実施

21年3月期の年間配当金は**1株当たり80円**の予定

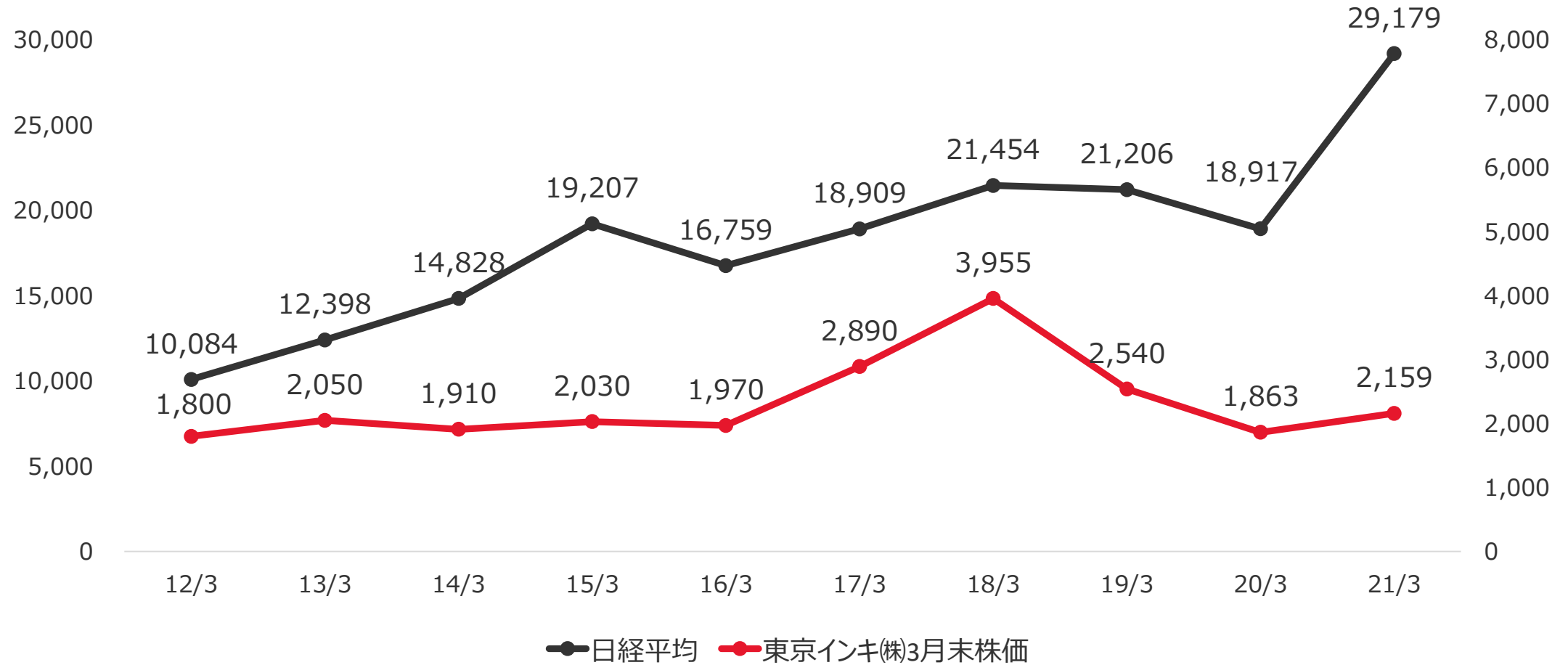
(単位：円)



※2017年10月1日付で普通株式10株につき1株の割合で株式併合を実施
2017年3月期以前の配当金は遡及して修正

【株主優待】毎年9月30日現在当社株式1单元(100株)以上を保有の株主様へオリジナルクオカードを贈呈

(単位：円)



※2017年10月1日付で普通株式10株につき1株の割合で株式併合を実施
2017年3月期以前の当社株価は遡及して修正

1. 連結業績ハイライト
2. セグメントの概況
3. その他連結決算情報
4. 株主還元情報
-  5. 次期業績予想
6. 参考情報

次期業績予想

売上高 : 全事業セグメントで増収を計画（新型コロナウイルス感染症の拡大影響からの回復を含む）

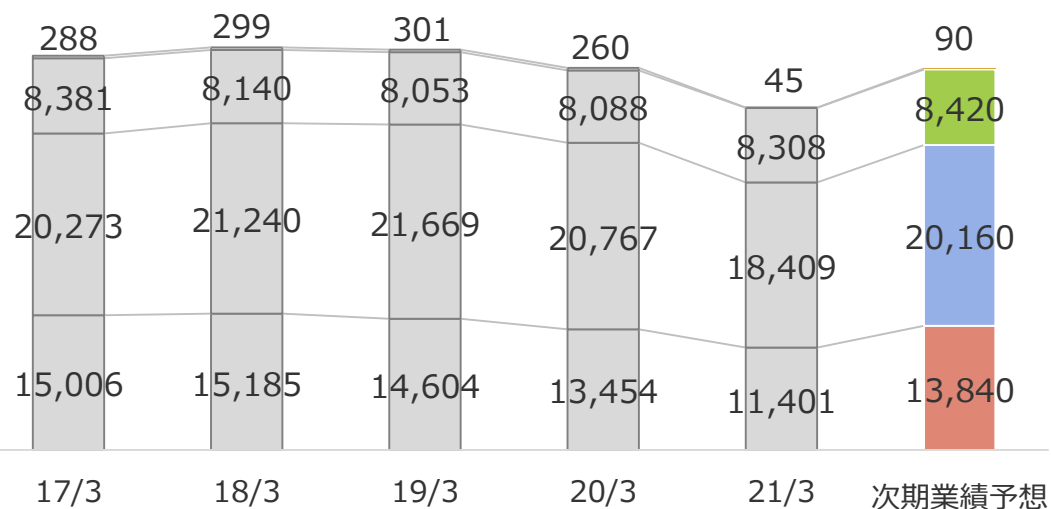
（単位：百万円）

セグメント利益：インキ・化成品・不動産事業で増益を計画

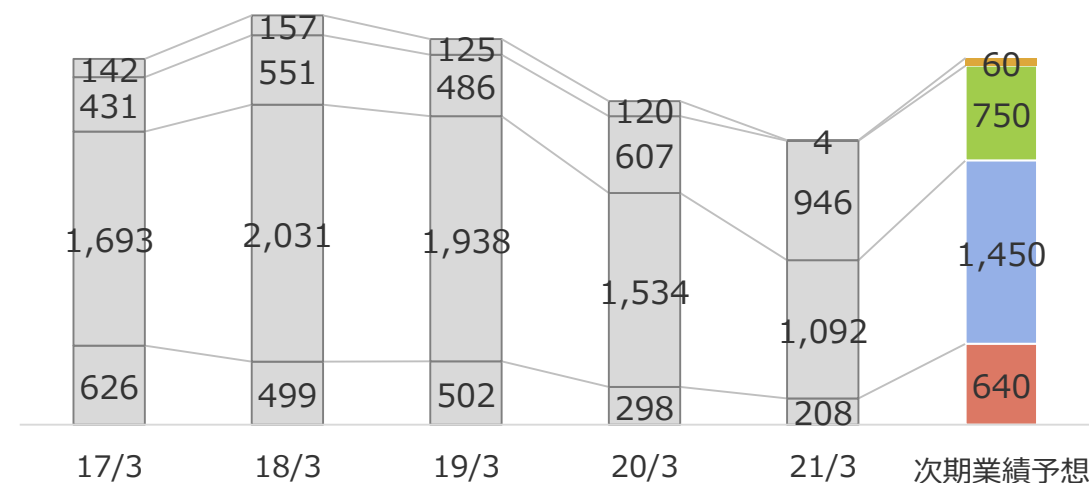
加工品事業については今期好調の土木資材での若干の売上高減と新規設備投資による償却費増により減益

次期業績予想	インキ事業	化成品事業	加工品事業	不動産事業	セグメント合計	全社費用他	連結合計
売上高	13,840	20,160	8,420	90	42,510	—	42,510
セグメント利益	640	1,450	750	60	2,900	▲2,100	800

売上高



セグメント利益



■ インキ事業 ■ 化成品事業 ■ 加工品事業 ■ 不動産事業

■ インキ事業 ■ 化成品事業 ■ 加工品事業 ■ 不動産事業

1. 連結業績ハイライト
2. セグメントの概況
3. その他連結決算情報
4. 株主還元情報
5. 次期業績予想

6. 参考情報

(単位：百万円)

	20年3月期	構成比 (%)	21年3月期	構成比 (%)	増減額	増減率 (%)	参考 前回業績予想 21年2月8日公表値	増減
売上高	42,572	100.0	38,165	100.0	▲4,406	▲10.4	38,500	▲334
売上原価	35,802	84.1	31,969	83.8	▲3,832	▲10.7	—	—
売上総利益	6,769	15.9	6,195	16.2	▲573	▲8.5	—	—
販売費及び一般管理費	6,176	14.5	5,939	15.6	▲237	▲3.9	—	—
営業利益	592	1.4	256	0.7	▲336	▲56.7	200	56
営業外損益	215	0.5	365	1.0	149	69.4	—	—
経常利益	808	1.9	622	1.6	▲186	▲23.1	1,020	▲397
親会社株主に帰属する 当期純利益	657	1.5	600	1.6	▲56	▲8.6	740	▲139

（単位：百万円）

	第1四半期		第2四半期		第3四半期		第4四半期		連結会計年度	
	19/4～6	20/4～6	19/7～9	20/7～9	19/10～12	20/10～12	20/1～3	21/1～3	19/4～20/3	20/4～21/3
売上高	10,450	8,736	10,669	9,040	11,440	10,407	10,012	9,981	42,572	38,165
営業利益	96	▲24	77	▲155	371	279	46	157	592	256
経常利益	194	110	109	▲124	488	551	15	84	808	622
親会社株主に帰属する 当期純利益	111	65	85	▲158	344	451	115	242	657	600

※米国での投資評価方法の修正に伴う影響により、過年度に遡及し誤謬の訂正を実施しております
 このため、前連結会計年度の各四半期及び当連結会計年度の第1～第3四半期の経常利益、親会社株主に帰属する当期純利益の数値を修正しております

(単位：百万円)

売上高

セグメント利益

報告セグメント	20年3月期	21年3月期	増減	増減率 (%)	20年3月期	21年3月期	増減	増減率 (%)
インキ事業	13,454	11,401	▲2,053	▲15.3	298	208	▲89	▲30.2
化成品事業	20,767	18,409	▲2,357	▲11.4	1,534	1,092	▲441	▲28.8
加工品事業	8,088	8,308	220	2.7	607	946	339	55.8
不動産賃貸事業	260	45	▲214	▲82.4	120	4	▲115	▲96.5
セグメント合計	42,572	38,165	▲4,406	▲10.4	2,559	2,251	▲308	▲12.0
全社費用他 ※					▲1,966	▲1,994	▲27	—
連結営業利益					592	256	▲336	▲56.7

※全社費用は主に事業セグメントに属さない一般管理費

（単位：百万円）

	第1四半期		第2四半期		第3四半期		第4四半期		連結会計年度	
	19/4～6	20/4～6	19/7～9	20/7～9	19/10～12	20/10～12	20/1～3	21/1～3	19/4～20/3	20/4～21/3
インキ事業	3,284	2,434	3,269	2,685	3,739	3,322	3,161	2,958	13,454	11,401
化成品事業	5,348	4,194	5,126	4,284	5,410	4,867	4,881	5,063	20,767	18,409
加工品事業	1,742	2,095	2,198	2,060	2,215	2,211	1,932	1,940	8,088	8,308
不動産賃貸事業	74	11	74	9	74	5	36	19	260	45
セグメント合計	10,450	8,736	10,669	9,040	11,440	10,407	10,012	9,981	42,572	38,165

（単位：百万円）

	第1四半期		第2四半期		第3四半期		第4四半期		連結会計年度	
	19/4～6	20/4～6	19/7～9	20/7～9	19/10～12	20/10～12	20/1～3	21/1～3	19/4～20/3	20/4～21/3
インキ事業	34	▲22	47	▲53	129	179	86	104	298	208
化成品事業	439	215	375	150	436	316	283	409	1,534	1,092
加工品事業	80	258	110	227	265	276	150	183	607	946
不動産賃貸事業	39	7	35	▲5	30	▲8	14	10	120	4
セグメント利益	593	459	569	319	861	764	535	708	2,559	2,251
全社費用他	▲497	▲483	▲491	▲475	▲489	▲484	▲488	▲551	▲1,966	▲1,994
連結営業利益	96	▲24	77	▲155	371	279	46	157	592	256

(単位：百万円)

	20年3月期	21年3月期	増減額	増減率(%)
流動資産	24,903	25,655	751	3.0
固定資産	18,355	20,128	1,772	9.7
有・無形固定資産	12,706	14,636	1,929	15.2
投資その他	5,649	5,492	▲157	▲2.8
資産合計	43,259	45,783	2,523	5.8
流動負債	14,777	15,032	254	1.7
固定負債	4,580	5,533	953	20.8
負債合計	19,358	20,566	1,207	6.2
純資産合計 (自己資本比率)	23,901 (54.90%)	25,216 (54.74%)	1,315 (▲0.16%)	5.5 -
負債・純資産合計	43,259	45,783	2,523	5.8

(単位：百万円)

摘要	20年3月期	21年3月期	増減額
I.営業活動によるキャッシュ・フロー(A)	661	1,942	1,281
II.投資活動によるキャッシュ・フロー(B)	▲442	▲1,668	▲1,226
フリーキャッシュ・フロー(A+B)	218	273	55
III.財務活動によるキャッシュ・フロー	▲621	1,319	1,941
現金同等物の期首残高	1,869	1,576	▲292
現金同等物の期末残高	1,576	3,161	1,585

- 本資料は、投資家の皆様に会社内容の理解を深めて頂くための資料であり、投資勧誘を目的としたものではありません。
- 記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。
また、実際の業績等は様々な要因により予想数値と大きく異なる可能性があります。
投資に関する決定は、ご自身のご判断と責任において行われるようお願い致します。

<https://www.tokyoink.co.jp/>

【お問合せ先】

東京インキ株式会社 管理部門 理財部

TEL : 03-5902-7652

FAX : 03-5390-4937

E-mail : rizai@tokyoink.co.jp

TOKYOink



Copyright(c)2021 TOKYO PRINTING INK MFG. CO.,LTD.